

団体名	特定非営利活動法人スローソサエティ協会		
団体の所在地	姫路市	代表者名	米谷 啓和

1. 事業名	はりまグリーンカーテンプロジェクト		
2. 実施期間	平成21年4月2日～平成21年10月30日まで		
3. 主な実施場所	姫路市内の4小学校		
4. 活動形態	普及活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>姫路市内の小学校にグリーンカーテンを設置しました。設置したのは、姫路市立手柄小学校、城西小学校、旭陽小学校、野里小学校の4校です。校舎1階の南側、1年生や特別支援学級の教室に設置しました。</p> <p>ゴーヤ、朝顔、ひょうたんなどつる性植物のグリーンカーテンにより、真夏の日光をさえぎり、室温を下げることで省エネ効果をもたらします。ヒートアイランド対策、地球温暖化防止にも貢献します。</p> <p>小学校の教室に設置することで、子どもたちは涼しさを感じます。また、緑色は目にやさしく、子供の心に安らぎを持たせます。1年生は生活科で朝顔を育てるので、ゴーヤにも興味を持ちます。家庭に持ち帰って喜ばれたり、料理して一緒に食べたり、家族で話題にするなど、親子の会話づくりにもなります。</p> <p>2009年、今年の夏はエルニーニョ現象によりずいぶん暑い夏でした。特に7月は曇りや雨の日が多かったので、夏休み前の教室の室温低下効果はあまりみられません。緑の高価により体感気温はずいぶん涼しく、また教室を落ち着いた雰囲気にするといった副次的な効果がありました。</p>		
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>成果、反響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光の照り返しを防げる、まぶしさがなく、緑色が目に優しいことなどにより、体感的、気分的な涼しさを感じられました。 ・ゴーヤは成長が早く実がたくさんできるので、観察する子供たちに楽しみがありました。また、家庭に持ち帰って喜ばれたり、料理して一緒に食べたり、家族で話題にするなどの副次的効果もありました。 ・1年生は生活科で朝顔を育てるので、ゴーヤにも興味を持ちました。成長が早いのでびっくりしていました。 ・ゴーヤが枯れて、後かたづけをし、種を取って来年にまた種をまきます。1年で生死のサイクルがある植物なので、動物の飼育では経験しにくく、有意義でした。 ・布製カーテンでは得られない、緑のいやし効果がありました。子供の心に安らぎを持たせることができました。 <p>反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始が遅かったので、1ヶ月早ければ、もっと立派なグリーンカーテンになったと思われます。 ・手柄小学校ではネットの一部が重みで切れてしまいました。3か所しかとめてなかったため、重みが集中したため、ネットにかかる重みを分散させるよう、多数箇所とめるべきでした。 ・水やり、摘心に手間がかかります。ちゃんと世話する人がいて、毎日みないといけないカーテンにはならないことがわかりました。世話をすることは、やりだすと楽しいことなので、その楽しさをわかっていたらいいです。 		
7. 成果物			
8. 活動写真・説明	 <p>みんなで植えたゴーヤの苗に水やり (手柄小)</p>  <p>立派なカーテンになりました (9月2日、城西小)</p>  <p>みんなで収穫作業 (9月29日、城西小)</p>		